

被爆ピアノ使用はっちでコンサート

平和の願い 未来へ響け

広島市に投下された原子爆弾で被爆したピアノを使用したコンサート「未来へつなぐ平和の願い」が10月30日、八戸市の「ほっち」で開かれた。来場者100人はピアノの音色に聞き入りながら、平和への願いを新たにした。

（藤村大地）

奏者22人思い込め

被爆ピアノは、原爆の爆心地から3.5以内の場所、爆風や熱線などを受けたという。当時の傷などをそのまま残しながら、演奏可能な状態で維持されている。平和について考えてもらうきっかけにしようと、被爆ピアノの調律師矢川光則さんが全国を巡回している。

被爆ピアノは、原爆

の爆心地から3.5以内

の場所、爆風や熱線な

どを受けたという。当

時の傷などをそのまま

残しながら、演奏可能

な状態で維持されてい

る。平和について考え

てもらうきっかけにし

ようと、被爆ピアノの

調律師矢川光則さんが

全国を巡回している。

コンサートは八戸学院大短期大学部幼児保育学科の企画で実施。公募で参加した市内のピアノ奏者22人が、それぞれ思いを込めて演奏した。

演奏した市立柏崎小3年の小山泰知君（8）は「戦争がなく、平和になってほしい」との思いを込めた」と笑顔。自身が作曲した地球を守れ！スーパーヒーロー」を披露した吹上小2年の和泉奏君（8）は「平和を思う気持ちだが、もっと広がってほしい」と願った。

同市の是川保育園でもミニコンサートを開催。是川地区の子どもの城保育園などの園児も集まり、伴奏に合わせて歌を歌った。是川保育園の大向莉旺ちゃん（6）は「ピアノが壊れないのがすごいと思った。歌うのも楽しい」と話した。



平和への思いを込めて被爆ピアノを弾く参加者



是川保育園で行われたミニコンサート

（是川保育園提供）